

令和6年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	「フィンランドからのヒント」＜御代田町共催講座＞				
講座の目的	幸福度やジェンダーギャップ指数で常に上位にあるフィンランドでの働き方、教育、政治、自然との関わり方などを知り、日本の私達の生活や仕事、地域・社会の未来にどう生かして行くか、男女共同参画の視点から学ぶ。				
募集対象	長野県内在住・在勤・在学の方				
定員人数	会場 20名 後日配信 80名	申込人数	会場 24名 後日配信 40名	当日参加人数	会場 21名 後日配信 31名(78回)
申込方法	ながの電子申請サービス、電話、FAX、メール				
託児	なし				
回数	1回				
開催場所	御代田町役場 2階 庁議室				
日時	7月6日(土) 13:30～15:00				
講師	堀内 都喜子さん (ライター)				
開催内容	講義(対面) 「フィンランドからのヒント～生産性とウェルビーイングを高め、誰もが能力を発揮できる社会へ～」 期間限定後日配信あり				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> 誰一人も～、誰もが～という考え方がすばらしい。自己責任という日本の考え方が、皆を苦しめていると思いました。もっと若い人が決定の場に参加すべきと思いました。 フィンランドの「自分で選択」する。自立性を育てる取り組みが、ここ日本で行われるといいと思います。教育は改革の最後とは、よく言われますが、日本のここで将来を見ずえて、次世代を育てること、を真剣に考えなければ・・・と改めて思いました。 フィンランドがうらやましいなと思う部分がかっこうありました。慣例にとらわれず、日本でも自分を大切にしたい働き方、暮らし方をするにはどうしたらいいのか、と考えました。視点が広がり、よいセミナーでした。ありがとうございました。 聞きたいことが聞けて非常に勉強になった。 なかなか、他国の働き方や教育を知る機会がないため、たいへん貴重な講演内容でした。 働き方改革や職場環境の改善といっても、何をどうすればよいか実際には動けないことがありますが、今回の講演でヒントをもらえたので、少しでもできることから実践してみようと思います。 				

フィンランドからのヒント
～生産性とウェルビーイングを高め、誰もが能力を発揮できる社会へ～

幸福度やジェンダーのランキング、SDG's 達成度などで常に上位にあるフィンランドは、かつては欧州でも最も若い人口となっていました。

しかし、今は30代女性が政府で活躍することは難しくなく、父親の育休取得率は90%。熟練とウェルビーイングを追求し、誰もが生きやすい社会を作ることこそ少子高齢化という日本と同じ課題にも対応しようとしています。

フィンランドの事例から未来へのヒントを探ります。

2024
7/6 (土)
13:30～15:00
(受付:13:10～)

講師 **堀内 都喜子 さん**
ライター・フィンランド専門家
長野県中野市出身。大学卒業後、日本経済新聞記者を経てフィンランドに渡ります。大学卒業後、フィンランドに渡ります。フィンランドで生活しながら、フィンランドの文化や社会について学び、2019年からフィンランドのメディアで記者として活動。2023年、フィンランドのメディアで記者として活動。2023年、フィンランドのメディアで記者として活動。

※要予約 (1/半席から2名単位) 枠数を超過できません。要予約に申し込みが必要です。

●対象：県内在住、在勤、在学の方
●会場：御代田町役場 2階 庁議室 定員20名
●申込方法：ながの電子申請・電話・FAX・メールで受け付けます。(詳細は裏面をご覧ください)
※お問合せは電話(0267-32-3112)でお受けします。
●託児：先着5名程度 満1歳～未就学児対象(要申込)
●申込締切：受講、託児ともに **令和6年6月28日(金)**
(いずれも先着順)

主催 **御代田町 企画財政課**
長野県男女共同参画センター“あいとびあ”



堀内講師



御代田町会場